

広報誌 おかよう

発行元：岡山県児童養護施設等協議会「職員関連事業部会」

会長あいさつ



会長：松田浩一郎

昨年の8月に全国の社会的養護に関わる施設に激震が走った。ご存じの「新しい社会的養育ビジョン」の公表である。これは、平成28年の児童福祉法の一部改正に合わせ、その理念を具現化するものとして作成された経緯がある。改正前の児童福祉法第一条は、国民主体であり、児童は同条第二項に明記されていたが、改正法では、第一条に児童主体の条文が明記された。これは1994年に日本が批准した「子どもの権利条約」の基本理念を明文化したものに他ならない。この度の同ビジョンにおける我々の一番の懸念材料は、施設への未就学児の新規措置停止、里親委託率や施設滞在期間の設定、更には様々な施策の実施期限の設定等、他にもあるが、このようなものであろう。確かに、物事を成していくには、目標設定が有効である。しかし、それもケースバイケースである。殊に子ども達の養育については、目標設定通りにいかないのが常である。いずれも原則と言う曖昧で便利な言葉が使われているが、例外がありうるのか。いつの時代でも国の施策に翻弄される我々だが、子ども中心の思いは、不変である。子ども達の幸せな笑顔を糧に、我々の出来ることを精一杯取り組んで行きたいものである。

新任施設長紹介



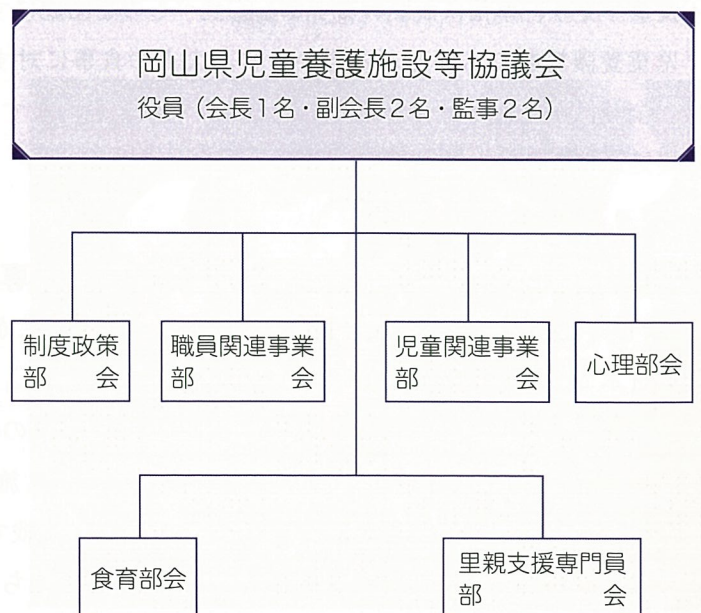
若松園 園長 津嶋 悟

この度、若松園園長の大役をおおせつかることになりました。先代の高月先生が施設長として35年、職員として50年以上の長きに渡り粉骨砕身され、ここまで成長発展させてきた若松園のバトンを受け継ぐことは、大変身の引き締まる思いがいたします。

この年度は、園長の交代とそれに伴う新しい職員体制構築という当園にとって激動の幕開けでした。しかし、職員も子どもたちも私を「園長先生」と呼ぶにはまだまだ照れと恥ずかしさが残る8月、国が『新しい社会的養育ビジョン』を示し、現場には驚きと衝撃が走りました。

ビジョンを読み込む度に様々な不安が胸中をかすめますが、今こそ岡山で育つ子どもたちの未来をどう考えるのか、その将来像を我々自身が語り議論する絶好のタイミングでもあります。若輩者ではありますが、岡養協の一員として共にこの難局に向き合いたいと考えています。

平成29年度 岡山県児童養護施設等協議会 組織図



専門部会 活動報告

● 制度政策部会 ●

制度政策部会では、岡山県社会福祉法人経営者協議会と共に各団体、自治体へ要望、陳情を実施してきているところである。今年度は、福祉関係振興議員連盟との懇談においては、退所児童に対してのアフターケアを充実すべく自立支援専門員の加配を要望した。また、入所児童の自己肯定感と自尊心向上のための習い事への支援を自民党県議団と岡山県保健福祉部長へ要望書を提出し説明を行った。更には、公明党柘屋敬悟衆議院議員を始め県議員へは、新しい社会的養育ビジョンについて、設定数値目標等に囚われることなく、児童の養育が丁寧に取扱われるように要望した。このビジョンについては、今後の児童養護施設等の方向性を大きく左右するものとして今後も、各方面への働きかけが重要と考える。

● 心理部会 ●

平成21年度から心理部会として活動を始めて以降、施設持ち回りで9年間に13施設で開催することができました。今年度初開催の施設では、小規模化・地域分散化が求められる中での今後の心理支援のあり方を考えさせられました。また一方で、これまでに3回以上開催されている施設もあり、訪問する度に新たな発見や、前回訪問時との変化からその施設で大切にされている取り組みをうかがい知ることもできる貴重な機会になっています。内容は事例検討の他に、情報交換として「精神科医療受診にあたっての課題と対応」など、その時々で気になる話題についても取り上げていて、回を重ねるごとに「参加者に聞いてみたいこと」が増え、タイムリーに情報収集できる機会になっています。

● 食育部会 ●

平成17年食育基本法が施行されました。児童福祉施設における食育は、「保育所保育指針」と「保育所における食育に関する指針」を参考に、各施設にあった指導計画を作成し、実行することとなっています。

保育所の食育の目標

- ①お腹がすくりズムのもてる子ども
- ②食べたもの、好きなものが増える子ども
- ③一緒に食べたい人がいる子ども
- ④食事づくり、準備にかかわる子ども
- ⑤食べものを話題にする子ども

児童養護施設でも同じだと思います。大人の食事に対する関心や理解は、子どもの成長に大きく影響を与えます。全職員が協力し食育を進めることが大事だと思います。食育部会では毎回、当番園が実践発表をしています。直接処遇の皆さんも是非ご参加下さい。

● 里親支援専門員部会 ●

「新しい社会的養育ビジョン」が発表されてから、とにかく里親委託優先であるという目標が掲げられています。将来日本でも、今より幾倍もの里親家庭が里子を預かるようになったとき、里親支援の姿も今とは様変わりすることでしょう。その時、どっしりと腰を据えて、里親支援のできる施設でありたいと願うところでもあります。そういう意味では、どちらが先か後かということより、里親も施設も、同じスタート地点に立たされているのであって、これからが始まり。今まで経験したことのない新しい挑戦であると思います。

育ちゆく子どもたちの心に寄り添いながら、子どもたちにとって最善の居場所まで、共に目指すことが出来れば幸いです。

児童関連事業部会

のどろキャンプ

第12回中高生対象交流事業を、平成29年8月2日～3日、のどろ原キャンプ場で行いました。今年は毎年行われているキャンプ場での調理実習と、昨年度初めて行った企業見学を一緒にすることになりました。1日目、山田養蜂場では、経営理念を聞いた後、子ども達がどら焼きに餡子を詰め、売れるようにするためのポップ作りや接客練習をした後、実際に販売し、売り上げ報告までを体験しました。その後、のどろ原キャンプ場でひらめのつかみ取り、カレー作りをした後、ログハウスに泊まりました。2日目は、牛乳パックを使ったホットドッグ作り、鏡野フルーツファクトリーで工場見学、農園見学を行いました。果物が加工される工程や、おかやま桃子等が作られていることを知り、6次産業化をビジネスモデルとされた企業であることを学びました。参加児童より、1人の人を思う気持ちから始まった会社の歴史が知ることができた、徹底した衛生面の管理、お客様へのマナーや気遣いが勉強になった、他施設の人と交流できて良かった、ひらめのつかみ取りが楽しかった等、感想を聞くことができました。2つの事業を一緒にしたため、慌ただしい2日間になり課題も残りましたが、自然の中で過ごし、企業の方の温かさを感じ、働くことへの関心が持てたように思います。これからも子どもの心に残る活動に取り組みたいと思います。

※この事業は赤い羽根共同募金の助成をいただいて実施しました。



キャンプ場



鏡野フルーツファクトリー



どら焼き作り



ひらめのつかみ取り

第12回児童養護施設交流事業 in岡山ドーム

平成29年11月19日(日)県内12施設の小学生対象とした運動会を岡山ドームにて開催いたしました。各施設から小学生 157名と幼稚園児 15名と職員 50名が集まり、午前と午後の部に分けて各競技が行われました。

最初の種目である施設対抗リレーは、毎年最も盛り上がる競技で午前は予選、午後に決勝戦を行い、今回は天心寮・玉島学園の合同チームが見事な走りで1位を獲得しました。またドッジボールでは度々延長戦に入るほどの熱戦を繰り広げました。長縄とびでは、各チームで作戦を練って一緒に協力して飛ぶ姿が印象的でした。そして応援でも盛り上がるのが綱引きです。職員と子どもと一緒に頑張ってすぐ傍で身を乗り出して大声援で盛り上げてくれました。その結果、総合成績では新天地・善隣館の合同チームが見事優勝されました。一生懸命競技に打ち込む子どもたちの姿が見られて、職員それぞれに今後の励みになったのではないのでしょうか。

来年度も子どもたちにとってより良い交流事業が開催できるよう児童関連部会で知恵を出し合っ取り組みたいと思います。運営に携わってくださった役員及び係員の皆様、ご協力ありがとうございました。



第57回岡山県児童福祉施設卓球大会

平成30年2月10日土曜日、玉島市民交流センターにて、『第57回岡山県児童福祉施設卓球大会』を開催しました。小学校3年生から高校3年生までの児童50名が参加しての大会となりました。当日は厳しい冬の寒さの中、白熱した試合が繰り広げられました。普段通りの試合ができた子や、思うようにいかなかった子など様々でしたが、みんな気持ちよくプレーできていたように思えました。

今年度は従来の成徳学校体育館が耐震工事の為使用できなくて、初めて玉島市民交流センターをお借りしての大会となり、運営スタッフも新たな気持ちで大会に携わらせていただきました。参加した子どもたちも空いた時間に熱心に練習する姿が見られ、大会にかけの思いを感じることができました。こういった子どもたちの思いを大切に、楽しい大会運営に部会員一同努力していきたいと思ひます。

また、当日は審判員として、各施設から職員を派遣していただき、スムーズな進行ができました。多くの方々のご支援に感謝しております。



職員関連事業部会

平成29年度岡山県児童養護施設等新任職員研修会

「平成29年度岡山県児童養護施設等新任職員研修会」を平成29年6月19日(月)きらめきプラザで行い、岡山県児童養護施設等協議会の加盟施設・児童福祉施設16施設57名の職員が参加しました。児童自立支援施設 岡山県立成徳学校の石田晶則校長と児童養護施設 若松園の津嶋悟園長が講義を行いました。グループワークではお互いの悩みなどを話し合うことで気持ちが楽になり、諦めずに頑張っていきたいという意見がありました。

また、「平成29年度岡山県児童養護施設等協議会新任職員フォローアップ研修会」を平成29年11月24日(金)にきらめきプラザで行い、14施設38名の職員が参加しました。岡山県中央児童相談所 子ども支援課長の嶋田俊幸氏に講義をしていただきました。

研修会終了後の懇親会では、食事をしながらお互いの近況や仕事の話などをする事で、大切な横のつながりが深まったように思います。



「子どもの権利条約」研修会とイラスト展

平成29年7月28日、岡山聖園マリア幼稚園にて「子どもの権利条約」研修会(岡山弁護士会後援)が開催されました。岡養だけでなく岡山弁護士会、小中学校、行政機関等も含め70名の参加がありました。関西大学教授 山縣文治先生の講義では、児童福祉法の改正ポイントや子どもの権利について改めて学び直すことができました。岡山聖園園児の家施設長 則武直美先生によるポーランド視察報告では、子どもの権利条約の精神の基礎となったDr.ヤヌシュ・コルチャックの生き様を振り返りました。

座学の後には、カトリック岡山教会で7月26~30日に開催していたイラスト展「絵本から見る子どもの権利〜スウェーデンの画家からの贈り物」(早稲田大学川名研究室共催)を見学。スウェーデン国内で子どもの権利条約を普及するために作成された絵本に使われた、画家チャーリー・ノーマンさんのイラストは、子どもの権利についてとても分かりやすく描かれており、開催期間中には地域の方々や子どもたちもたくさん来場していただくことができました。

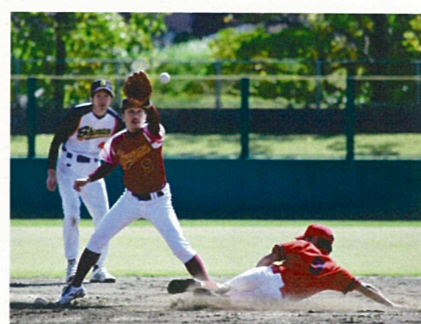


職員関連事業部会

▼職員野球大会▼

平成29年9月28・29日の日程で、鳥取市営美保球場にて第39回中国地区児童養護施設職員野球大会が開催されました。まずは、今年も練習会から多くの職員が参加してくださり、万全の状態で大会を迎えることができましたことを感謝申し上げます。大会初日は悪天候のため体育館でバレーボールの試合となり、暫定4位という厳しい結果となりました。しかし2日目の野球では選手一丸となって挑んだ結果、見事トーナメントを勝ち抜き、優勝することができました。今回で岡山県は野球大会三連覇となり、この優勝はひとえに

参加者だけの力ではなく、大会中に施設を支えてくださった職員あつての優勝だと思います。今後もこの施設同士の交流が続きますよう、お力添えいただければ幸いです。



▼職員バレーボール大会▼

平成29年10月25～26日に真庭市白梅総合体育館にて、各県より9チーム75名が集まり、第33回中国地区児童養護施設職員バレーボール大会が開催されました。優勝は昨年同様鳥取Aで、岡山Aは5位、岡山Bは8位の結果となりました。試合では勝敗にこだわり真剣に戦い、懇親会では食べて踊って楽しく交流ができ、今年も無事に終えることが出来ました。『岡山らしいおもてなし』を考え、ゆるキャラ“まにぞう”の

登場や真庭市版ラジオ体操で準備運動を行い、上位チームやMVPの副賞も岡山県産の詰め合わせにするなど、いつもと違う演出を参加者の皆さまにも喜び楽しんでいただきました。

岡山大会開催において運営のため県内の皆さまには、多大なご協力・ご尽力をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。



第33回 中国地区児童養護施設職員バレーボール大会

成徳学校宿泊研修会

平成29年度「成徳学校宿泊研修会」が平成29年10月11日～13日の2泊3日の日程で開催されました。今回は当協議会から4施設4名の参加がありました。研修会初日に児童養護施設南野育成園理事長、叶原土筆先生に「手作りご飯のぬくもり」と題しての講演をしていただきました。“生徒と暮らしを共にする中で、大切なものは何か？”○無条件で愛を得ることができる場所、○安全安心な場所、○一家団欒を感じられる場所。“小舎夫婦制で大切にしている「食の営み・食生活」とは？”<一緒に作ったものを共に食べるという行為>○命を育むこと、○思いやりや優しさ、愛が育つもの。研修に参加された方々は、寮舎で児童と一緒に食事をする中で、実感されたことと思います。



2日目には寮母職員から「丘の子どもたちとの暮らし」、人として暮らしを営む生活に子どもに関わる仕事という大前提、生活者の生の声と、栄養士による「給食と食育について」生活を支える食の視点からの話を聞いていただきました。



活動後のアンケートには「もっと子どもたちの先生方との関りをみたい」「子どもとの関係づくりをどうしているのかもっと知りたい」等々のご意見をいただきました。

生活を営みながらのことですから、十分なお世話ができないこともありますが、“なま”で小舎夫婦制を体感できる機会です。次回も大勢の参加をお待ちしております。

濟世賞

児童養護施設悲眼院院長
高橋先生

当協議会の児童養護施設悲眼院院長高橋先生が濟世賞を受賞されました。濟世賞誕生の背景としては、昭和26年岡山県社会事業協会、民生委員連盟、岡山県同胞援護会が発展的に解消し、新たに岡山県社会福祉協議会を結成しました。

その際、岡山県社会事業協会所有の土地建物等資産を本社会福祉協議会が引き継ぎました。その条件として社会事業功労者に斯界のノーベル賞ともいうべきものとして、濟世賞を贈ることとなったものです。

濟世賞という名称については、大正6年5月12日岡山県知事笠井信一氏が濟世顧問制度を制定したことにちなみ命名したもので、社会事業功労賞の意であり、昭和28年より実施されています。

なお、濟世顧問制度はその後、幾変遷を経て今日の民生委員制度となっています。

高橋先生、本当におめでとうございます。



岡山市オレンジリボンキャンペーン啓発グッズご協力のお願い

「オレンジリボン」には、子ども虐待の現状を広く知っていただき、子ども虐待をなくしていこう、子どもを救うため、ひとりひとりにできることを考え、行動しよう、そして虐待を受けた子どもたちが幸福になれるように、との願いがこめられています。オレンジリボン運動の趣旨にご賛同いただき、啓発グッズを使用することで、オレンジリボンの輪を拡げてくださいますようご協力をお願いいたします。なお、ご協力いただいたお金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただきます。

岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 事務局：岡山市こども福祉課（担当：平井、徳山）

TEL 086(803)1223、FAX 086(803)1719 URL <http://www.okayama-tbox.jp/kosodate/pages/3479>

Twitter @orange_okayama Instagram @orange_okayama Facebook @orange.okayama



<p>ポロシャツ (2,000円)</p>	<p>パーカー (3,000円)</p>	<p>2017年秋新作 黒Tシャツ (1,500円)</p>	<p>2017年秋新作 キャンバストート (1,000円)</p>
 <p>ネイビーで伸びがよく、さらっと着心地のいい速乾性のポロシャツです。左肩と右腰にオレンジリボンマークあり。(男女兼用サイズ S, M, L, 2L, 3L)</p>	 <p>どなたでも着やすいネイビー色のパーカー。右腰にのみ、オレンジリボンマークが入っています。上記写真より実物は濃い色です。(男女兼用サイズ S, M, L, 2L, 3L)</p>	 <p>綿100%、普段着にもなるシンプルな黒Tシャツ。胸、左肩、左腰にプリントあり。(男女兼用サイズ S, M, L, 2L, 3L)</p>	 <p>A4資料がたっぷり入り、持ち手が長く肩にかけることができます。自立する幅広底マチ。丈夫なキャンバス地のトートバッグです。(43cm×38cm マチ16cm)</p>
<p>デニムミニバッグ (500円)</p>	<p>マルチトートバッグ (700円) ※11月1日から原価高騰のため700円になります</p>		<p>デニムポーチ (500円)</p>
 <p>お弁当入れやちょっとしたお出かけに大活躍♪デニム地のミニバッグです。マルチトートバッグやトートバッグの、約半分の大サイズです。(30cm×20cm マチ12cm)</p>	 <p>黒色のナイロン地。両サイドに、ペットボトルや折り畳み傘が入るポケット、バッグ内にミニポケットがついています。A4サイズの資料が縦にたっぷり入り、肩にかけられます。(26cm×34cm マチ12cm)</p>	 <p>収納力たっぷりのデニム地のポーチ！ペンケースや化粧ポーチ、小物入れとしてもお使いいただけます。</p>	
<p>マグネット (500円)</p>	<p>マスキングテープ (300円)</p>	<p>缶バッジ (各100円)</p>	
<p>※服のサイズについて… 男女兼用 Sサイズ (レディースM) Mサイズ (レディースL) Lサイズ (レディース2L) 2Lサイズ (レディース3L)</p>	 <p>車に貼れるオレンジリボンマグネットです。14cm×16cm</p>	 <p>15mm×10m カモ井製オリジナルマスキングテープです！</p>	 <p>デザインは5種類 お好みのデザインを選んで複数つけてもかわいい缶バッジです</p>

2017年11月1日より

編集後記

今年度も、皆様、子どもたちの為にご尽力された一年だったと思います。

今号では、それぞれの部会活動報告の他に、高橋先生の受賞お祝い記事や、新任施設長の津嶋先生のご挨拶を掲載させて頂きました。

年度末のお忙しい中、広報誌作成にご協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

平成30年3月15日「広報誌おかよう」制作スタッフ一同